

中学校英語

授業アイデア例②

読み取りを行う際には、文と文との関係を正確に読み取り、概要や要点を比較・検討するようにしましょう。

[短い文章の概要を捉える力を育成するための学習過程(報告書 P.46)]

【令和5年度全国学力・学習状況調査⁷⁾】

次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。

① 文章を読む目的を把握する。

② 文章を読み、main points に線を引く。また、線を引いた箇所やその理由についてペアで話し合う。

③ 段落間の関係を把握し、主な内容を捉える。

④ 概要として提示された複数の英文を読む。

④ 数文の英文で概要を書きまとめる。

⑤ 概要と要点を捉えるための手がかりを必要に応じて確認する。

⑥ 概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りがないか検討する。

- 段落内の構成や文と文との関係について考えながら読みだり話し合ったりすることで、正確に読み取る力が高まります。
※ 学習者用デジタル教科書の書き込み機能を活用すると効果的です。



How many paragraphs can you see in this passage?
Yes, there are four.
Now, please read the passage to underline the main point in each paragraph with your digital textbook.

Now, let's share your ideas in your group. While you listen to your friend, underline the main points with the marker on your digital textbook. After listening, let's ask why you chose the sentences as main points.



I think "the library in our town is more creative, too." is the main point of the 1st paragraph. What do you think?

I think so, too. "We not only read books and watch DVDs ..." is just an example, so this sentence is not main.



- 手がかりを指導することで、生徒は、段落内の文の役割、接続表現、語と語の関連などに着目する力が高まります。



I'll tell you four hints to make the outline. First, an outline is usually made up of main points in each paragraph. Second, one paragraph has one main point. Third, the main point is usually in the beginning of the paragraph. Fourth, examples don't become the main point. Does it make sense? Let's talk again with your partner and make the outline with four or five sentences.

もっと詳しく知りたい人はこちら！

「報告書」P.46～P.48に、「短い文章の概要を捉える力を育成するための学習過程」の具体例が示されています。



もっと詳しく知りたい人はこちら！

平成31年度全国学力・学習状況調査 授業アイデア例「書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう」にも、書き手の一番伝えたいことを読み取る力を身に付けるための指導事例が示されています。

